



滋臨衛技

第222号

たより

発行所
滋臨衛技師会
事務局
大津赤十字
病院検査部
大津市長等1-1-35
発行責任者
瀬田正憲



水鳥の楽園（北びわ湖）

◇目次◇

平成18年度新入会員研修会を開催して	2
平成18年度「第1回生涯教育研修会」を企画して	3
輸血製剤の安全性の確保及び適生使用に関する研修会を開催して	5
平成18年7月定例理事会議事録	7
平成18年8月定例理事会議事録	8
お知らせ	10
編集雑感	16

平成18年度 新入会員研修会を開催して

組織部 小 梶 慎 吾

去る7月29日(土)、草津市まちづくりセンターにおきまして平成18年度新入会員研修会を開催いたしました。

企画当初は参加者の人数を心配しておりましたが、今回は、草津総合病院の新築に伴い、草津総合病院より6名という、1施設から近年にない多くの参加者を得まして、総勢11名の新入会員を迎えての研修会となりました。参加者一人ひとりの顔が輝いて見え、私自身、初めて臨床検査技師として社会に出た頃が大変懐かしく思い出されました。

研修会では、会長をはじめ各担当理事から会の歴史、組織、活動の概要について紹介され、熱心に聴講して頂きました。

これからの臨床検査を担って頂く若い力に大きい期待を寄せながら盛会裡に終えることができました。

新入会員の参加者

吉岡 隆一 (大津赤十字病院)

小澤 香里 (草津総合病院)

藤ノ原圭子 (大津赤十字病院)

赤井 充 (草津総合病院)

近藤加奈子 (財滋賀保健研究センター)

栗野麻由美 (草津総合病院)

油利 育美 (財滋賀保健研究センター)

藤丸 恵子 (草津総合病院)

井岡 健 (株メディック)

一ノ瀬 愛 (草津総合病院)

池部 梢 (草津総合病院)



会長あいさつ



新入会員と理事との記念写真 'ハイポーズ'



研修風景

平成18年度「第1回 生涯教育研修会」を企画して

社会保険滋賀病院 生涯教育委員会部長 吉田 忠夫



テーマ：「震災」その時、検査室のスタッフはいかに闘ったか！」

講師：神鋼病院診療技術部検査業務室長 齊藤 敏晴 先生

開催日時：平成18年7月29日（土）

開催場所：草津市まちづくりセンター

1995年1月17日（月）早朝5時46分、突如襲った阪神・淡路大震災は約7,000名の生命を奪いました。私事で申し訳ありませんが、その日はめずらしく前日から書類を作成していたために、あの揺れは始めから最後まで机にしがみついて堪えていました。すぐに病院へ向かうべく自宅を出ましたが、病院に到着したのは昼の1時頃だと記憶しております。車中で火災状況、建物の崩壊ニュースが流れて神戸を中心に大惨事の模様が伝わってきました。その時に兵庫に住んでいる親戚・友人や技師会の友人の顔が浮かび、職場から電話をするのですが連絡が取れません。

当病院でも援助行動をとるべく組織作りが始まり、透析液・血球希釈液、医薬品を届けることにしましたが、神戸市内に入るまでに10時間かかったと聞いております。私たちの職場では残念ながら上司の理解が得られず、欠勤届を取って約5日間でしたが西ノ宮、宝塚に有志とともにボランティアに参りました。今回、神鋼病院の診療技術部室長 齊藤 敏晴先生 がご講演の中でお示しになった状況が今でも目に焼き付いています。災害は忘れた頃に襲ってくると言われています。もし再びこのような災害が有ったら医療界に集う者として、どのように対処すべきでしょうか。また普段からどのような心構えと、準備が必要でしょうか。齊藤先生のご経験の報告から、聴衆の皆様にも考えて頂きたいと考え、役員一同で企画致しました。

とくに今回は新人研修会の後での講演会でしたので、若い技師の皆さんには、医療人としての責務と自覚・心構えについて強い印象を持って頂いたと思っています。

今後とも、生涯教育委員会と致しまして斬新な企画に挑戦していきたいと思っております。ご協力の程宜しくお願い致します。



震災直後の町の写真



震災前に新築された病院



震災直後の病院の外壁

耐震目標
震度6（烈震）～7（烈震）
加速度 ～400gal
1994年5月 移転・新築
1995年1月 地震

メディック
井岡 健

今回の新入会員研修会に参加させていただき、滋賀県臨床衛生検査技師会の組織や活動内容について学ばせて頂きました。古い歴史を持つ技師会活動に参加する事が出来るようになり、喜びの中にも緊張感を新に致しました。滋賀県臨床衛生検査技師会の活動内容の中には、専門性の高い研修会や勉強会が多く開かれていることを知り、これからの自分の知識・技術向上を目指し、積極的に参加していきたいと思ひます。また、そこで得た知識・技術などは日々の仕事に生かせるように努力していきたいと思ひます。

生涯教育研修では、実際の阪神淡路大震災の災害を経験された方の体験を聴かせて頂きました。体験の内容としては、災害時には、検査機器の状態確認、修理等を行い、使用出来る機器に関しては準備をし、その他には、医師・看護師など実際に治療を行うスタッフの補佐をしたことを聞き、検査技師は、検査だけを行うのではなく、医療従事者として、何が出来るのかを考え、行動することが大切かを学びました。また、実際に災害時だけではなく、機器の整備、修理を行うためには、検査ということだけでなく、それに関わる全ての事に関し、広い知識と技能を身に付けることが大切であると学びました。

研修会の後に懇親会が開かれ、参加させて頂きました。そこで、新入会員の方々と先輩方と親睦を深める事が出来ました。これからも、積極的に技師会活動に参加する事で、自分の働く職場の中だけでなく、多くの方々と、人と人との親睦を深め、知識・技術等を向上させていきたいと思ひます。



新入会員研修会に参加して
草津総合病院 池部 梢

研修風景

7月29日草津市まちづくりセンターで行われた新入会員研修会に参加しました。技師会の概要、学術活動、生涯教育、精度管理など資料と説明をしていただきました。改めて技師会の活動を知ることで、勉強会や講演会にも積極的に参加して検査技師として専門的な知識や検査技術を身につけ向上させたいという思いが強くなりました。まずは日々の業務から知識を深め、興味をひろくもって医療チームの中で検査技師に求められるものに答えられるようになればと思ひます。

続けて行われた生涯教育研修では1995年震災時の検査室での体験を聞くことができ、多くの機能がストップする中で病院スタッフとして何が出来るのか考えさせられる機会となりました。

生涯教育研修会に参加して
草津総合病院 検査部 赤井 充

今回、新人教育研修に続く生涯教育研修会に参加させていただき、自分自身が経験したことの無い震災について、その恐ろしさや災害時の対応の困難さ、トラブル等について知ることができました。

テレビやラジオからの情報が流れるものの、経験したことがないだけに、危機感が欠けていることを実感させられました。

検査室として、普段から危機意識を持ち、適格な行動がとれるように、マニュアルの作成、それに基づく訓練、研修をしておくことが重要と思ひました。

今後も、このような研修会を開催していただき、緊急事態に備えられる検査室を構築して行かなければならないと強く感じました。

輸血製剤の安全性の確保及び適正使用に関する研修会を開催して

輸血・移植分野長 大津市民病院 松井 まり子



実 習 風 景

7月23日、コラボしがにおいて滋賀県臨床衛生検査技師会主催の「血液製剤の安全性の確保及び適正使用に関する研修会」が開催されました。

実技講習会を含む研修会であるため、企画にあたり実技講習が可能な会場の確保に苦慮しましたが、理事の入野さん、桐畑さんをはじめ輸血移植分野委員、輸血部会の精度管理委員、認定輸血検査技師等の実務委員と試薬メーカーおよび販売所の方々のご協力により、コラボしがの大会議室がりっぱな講義会場と実習講習会場に早変わりし

ました。

また、この研修会は、昨年、近畿3府県ですでに開催されているため、参加者が集まるかどうかを心配しましたが、近畿地区だけでなく遠くは岡山、愛知県から参加された方もあり、講義受講者は47名、実技受講者は29名と盛大な研修会となりました。

講師をお引き受けいただいた先生方、実務委員、試薬メーカー、販売所の皆様、研修会の準備に当たり多大なる時間を費やしていただいたうえ、早朝準備から研修会終了後のあとかたづけまで本当にお疲れ様でした。



研 修 会 風 景



輸血の研修を終えて

草津総合病院 栗野 麻友美

輸血検査に自信が無く不安の残るまま、当直に一人で入るようになったので、今回輸血の勉強会に参加でき、本当に勉強になりました。

実技講習が始まるまで、周りの人はどれくらい出来るのだろうか、失敗しないだろうかと凄く緊張していました。実際に実技が始まると、指導していただいた先生が一つ一つ丁寧に教えてくださり、安心して実習する事ができました。

実習中、常に先生が傍にいて疑問な所等すぐに返答していただけ、とても実習が行いやすかったです。試験管の振り方

や、血球凝集の判定基準も細かく指導していただきとても勉強になりました。もう少し実習の時間があれば、いろんな話が聞けたのになと思いました。



MF判定も先生に言われるとそうかと思って見ますが、実際一人で緊急検査をしている時に気付けるかどうか不安だなと感じました。今回の実習をしっかりと頭の中において検査するよう心がけようと思います。

輸血の研修を終えて、とても勉強になったように思います。また、自分自身が勉強不足だなと強く感じました。今回研修で学んだことをもう一度復習し、もっと検査の意味や基礎を理解し、勉強して確実な診断が出来るように努力していこうと思います。

事務所設置に関する業務改善検討委員会からの答申について

会長 瀬田 正憲

技師会の今後の運営と構築については、業務を改善し、効率よく会務・会計を行うことが寄り重要なことと認識し、委員会に諮ることいたしました。

このたび事務所設置に関する答申が出され、理事会で協議をしていますので皆様にお知らせいたします。

答申内容については1) 会議室の確保 2) 文書管理(公用文書など)、資料、備品などの保存・維持管理について恒久的な場所の確保の必要性が謳われております。答申を受けて事務所物件を探していたところJR野洲駅より徒歩5分、駐車場もあるなど利便性の良い候補地がありましたので現在、理事会で経営、運用などを協議しているところです。経費については、補正予算を組んで対応することにいたしますが、恒常的に必要なことから今後につきましては諸般の状況を鑑みながら弾力的に対応していきたいと考えております。事務所機能の更なる拡充を模索しつつ、新たな業務の負担を伴わないよう今後も協議を重ねながら鋭意進めていきたいと考えておりますので会員諸兄弟のご理解・ご協力をお願いする次第です。

平成18年7月定例理事会議事録

日 時：平成18年7月5日(水) 17:00~19:00
 場 所：ケーエスケー近江八幡支店 会議室
 出席者：瀬田、岸本、吉田孝、入野、山本、
 竹島、吉田忠夫、岡本、藤田、横山、
 夏原、小梶、桐畑、大本、内木、小川、
 元廣、橋本

司 会：山本

1. 会長報告

近畿理事会報告

日時：6月14日(水) 13:00~17:00

場所：大阪府技師会事務所

議題：

- ①近畿理事会役員の改選
 会 長：湯浅宗一（京都府）
 副会長：森嶋祥之（大阪府）
 植山 実（和歌山県）
 予 算：倉本哲央（奈良県）
 学 術：瀬田正憲（滋賀県）
 監 事：富永博夫（兵庫県）
 川崎哲子（福井県）
- ②平成17年度決算書・予算書報告
- ③第46回近畿医学検査学会（福井県）の
 進捗状況報告
- ④チーム医療研修会福井の進捗状況報告

2. 報告事項

- 1) 平成18年度第1回総会（決算）について
 日時：平成18年6月3日(日) 13:30~15:00
 会場：草津市立まちづくりセンター
 総会員数：487名(参加31名・委任状347名
 総数378名)
- 2) 学術講演会（総会終了後）
 日時：平成18年6月3日(日) 15:00~16:00
 会場：草津市立まちづくりセンター
 講演：「NST活動における臨床検査技師の
 役割」
 講師：佐々木雅也先生（滋賀医科大学）
 参加者：40名
- 3) 業務改善検討委員会報告
 日時：平成18年6月30日(土) 15:30~17:00
 会場：草津市立まちづくりセンター

3. 協議事項

- 1) 新入会員研修会について
 日時：平成18年7月29日(土) 14:30~15:30
 場所：草津市立まちづくりセンター
 新入会者11名参加予定
- 2) 生涯教育研修の講演会について
 日時：平成18年7月29日(土) 15:30~17:00
 場所：草津市立まちづくりセンター

演題：「"震災"そのとき検査室のスタッフ
 はいかに闘ったか！」

講師：斉藤敏晴

（神鋼病院診療技術部検査業務室長）

3) 「2006おおつ健康フェスティバル」

実行委員会について

日時：7月12日(水) 14:30~16:00

場所：明日都浜大津

フェスティバル開催日：10月15日(日)

4) J C C L S 基準化基本検討会について

滋賀県コア病院：滋賀医科大学附属病院

滋賀県サブコア病院：

- ①大津赤十字病院
- ②社保滋賀病院
- ③県立成人病センター
- ④公立甲賀病院

4. 各部の連絡

学術部：7月13日(日)

開催の輸血講習会参加者数は36名。定員ま
 で余裕があるので参加を要請する。

事業部：精度管理委員会（予定）

日 時：7月13日(水)

場 所：滋賀医大検査部

渉外部：賛助会員、協賛を募集中

厚生部：「夏のキャンプ」

日時：8月26日(土)、27日(日)

場所：グリーンパーク思いでの森
 （高島市朽木柏）

広報部：「滋臨衛技だより」は7月7日発行予定

組織部：「会員名簿」発行の準備中

総務部：

①7月15日開催の「第1回保健医療従事者
 研修会」の会場が「大津勤労者福祉セン
 ター」に変更。

②滋賀県医師会役員就任パーティ

日時：7月27日(木)18:00

場所：大津プリンスホテル

次回理事会予定：7月29日(土) 13:00~14:20

会 場：草津市立まちづくりセンター

司 会：竹島理事



会 員 動 向

1. 会員の動向（平成18年7月2日現在）

総会員数 496 名（日臨技494名、県内のみ2名）

2. 新入会員

会員番号	氏 名	施 設 名
254533	萩原 律子	医療法人仁生会 甲南病院
254534	日比野 祥子	医療法人仁生会 甲南病院

3. 再入会

会員番号	氏 名	施 設 名
250102	谷口 泰則	瀬田クリニック

4. 氏名変更

会員番号	変 更 後	変 更 前
254406	谷 綾子	遊免 綾子

5. 勤務先の変更

会員番号	氏 名	所 属	旧 所 属
250013	田中 英昭	大津赤十字病院	大津赤十字志賀病院

6. 自宅会員

会員番号	氏 名	旧 所 属
250081	千菊 秀昭	近江八幡市民病院
254257	西村 みどり	東近江市立能登川病院
254334	富士原 美保	市立長浜病院

7. 退会

会員番号	氏 名	旧 所 属
250034	渡邊 義裕	自宅会員
254391	岡田 奈津美	甲南病院

平成18年8月定例理事会議事録

日 時：平成18年7月29日(土) 13:00～14:20

場 所：草津市立まちづくりセンター 会議室

出席者：瀬田、岸本、入野、竹島、吉田忠夫、

岡本、藤田、横山、小椋、桐畑、大本、

小川、元廣、橋本

司 会：竹島

1. 会長報告

「血液製剤の安全性の確保および適正使用に関する研修会」の修了証明書は、開催地区技師会長名で発行する。

2. 報告事項

1) 「2006おおつ健康フェスティバル」実行委員会

日時：平成18年7月12日(水) 14:00～15:00

会場：明日都浜大津

出席理事：吉田忠夫理事

2) 定款改定委員会

日時：平成18年7月13日(木) 18:30～21:00

会場：草津市立まちづくりセンター

議題：時代に即応した定款改正（案）答申を12月日処に協議した。

3) 滋賀県保健医療従事者研修会

日時：平成18年7月15日(土) 10:00～16:00

会場：大津勤労福祉センター

検査技師の参加者が少なかったので今後は増やす方向で検討する。

4) 滋賀県医師会新役員就任披露祝賀会

日時：平成18年7月27日(木) 18:00～

場所：大津プリンスホテル

出席者：瀬田会長

5) その他

当会ホーム・ページへの書き込み被害の報告（吉田孝副会長）

HIP部会に対処を要請する。

3. 協議事項

1) 新入会員研修会について協議

- (担当：組織部)
 日時：平成18年7月29日(土) 14:30～15:30
 場所：草津市立まちづくりセンター
 新入会員 11名の予定
- 2) 生涯教育研修 講演会について協議
 (担当：生涯部)
 日時：平成18年7月29日(土) 15:30～17:00
 場所：草津市立まちづくりセンター
 講師：斉藤敏晴 先生 (神鋼病院)
 司会：吉田忠夫 (理事)
- 3) 「2006おおつ健康フェスティバル」について協議 (担当：渉外部)
 開催日：平成18年10月15日
 会 場：皇子山体育館とその周辺
 担 当：岡本 (理事)
 内 容：「血液さらさら測定」機器を借りる予定
- 4) 平成18年度会費未納者27名に督促する。

4. 各部の連絡・報告

学術部：

- ①第46回近畿医学検査学会から座長の依頼があり9名を推薦。
- ②第46回近畿医学検査学会での「受付ソフト」の借用願いがあった。

事業部：精度管理の試料配布は、輸血7月26日、血液9月5日発送。

渉外部：「2006おおつ健康フェスティバル」について打ち合わせ会を開く予定。
 広報部：9月1日に広報を発行予定。原稿を8月8日までに提出する。

総務部：

- ①「滋賀県がん検診検討部会委員」を3名推薦。
- ②滋賀県感染制御ネットワーク事業の構築に関して「感染制御委員会委員」を2名推薦。
- ③日臨技の自然災害被災会員の調査依頼来ている。「共済金」「会費減免」の措置あり。
- ④J AMT I S運用説明会8月5日(土) 13:00～15:00、大森東急インで開催。
- ⑤第46回近畿医学検査学会から、一般演題の再募集案内。
- ⑥平成18年度複十字シール運動の後援名義使用の承諾依頼。
- ⑦医療マネジメント学会第4回近畿地方会 後援依頼。
- ⑧滋賀県から助成金支給を受けた。

次回理事会予定：9月6日(水)、17:00から、
 会場：ケーエスケー 近江八幡
 司会：吉田忠夫 理事

会 員 動 向

1. 会員の動向 (平成18年7月24日現在)

総会員数 505 名 (日臨技503名、県内のみ2名)

2. 新入会員

会員番号	氏 名	施 設 名
254535	谷 仲 恵	滋賀医科大学医学部附属病院
254536	池 部 梢	草津総合病院
254537	赤 井 充	草津総合病院
254538	小 澤 香里	草津総合病院
254539	栗 野 麻友美	草津総合病院
254540	藤 丸 恵子	草津総合病院
254541	一ノ瀬 愛	草津総合病院

3. 転入

会員番号	氏 名	所 属	旧 所 属
265092	津 山 和由	社会保険滋賀病院	奈良県立奈良病院

4. 退会

会員番号	氏 名	旧 所 属
250048	樋 口 操子	滋賀県衛生科学センター

お知らせ

第1回遺伝子・染色体検査分野研修会のご案内

日 時：平成18年9月21日(木) 18：30～20：30

場 所：草津市立まちづくりセンター 3階 309会議室

(旧 草津市勤労福祉センター) 草津市西大路町9-6 TEL 077-562-9240

<講演内容>

講演1 『最近の白血病遺伝子検査について』 ～Amp-CMLを中心に～

講 師 松本 英郎 先生 (三菱化学ビーシーエル 遺伝子検査グループ)

講演2 『造血器悪性腫瘍に有用なFISHプローブの汲み合わせについて』

講 師 奥村 敦子 先生 (天理よろづ相談所 医学研究所)

参加費：会員 300円 非会員 3,000円

分 類：臨床専門 C-10点

ウイルス・輸血移植分野合同研修会のご案内

日 時：平成18年9月30日 (土) 13：30～16：00

会 場：草津市まちづくりセンター 3階 309会議室

草津市西大路町9-6

内 容：1. 『輸血後感染症の現状』

講 師：滋賀県赤十字血液センター 医薬情報係 塚本 欣也 氏

2. 『輸血前後感染症検査の検査方法について』

講 師：アボットジャパン学術情報部 金子 正和 氏

3. 『県内施設の輸血前後の感染症検査体制について』

講 師：輸血・移植分野委員

参加費：会員300円 非会員3000円



Sysmex

Diagnostics **XSシリーズ**
多項目自動血球分析装置
製造商内販の番号：20022002700001



コンパクトなサイズ*で、白血球5分類を実現

蛍光フローサイトメトリー法を測定原理とした
XSシリーズは、わずか20 μ Lのサンプリングで、
白血球5分類を含む24項目の高精度な血球分析データを提供します。



NEW 多項目自動血球分析装置 XSシリーズ

XS-1000i

キャップピアサ対応タイプ

検体投入部に検体をセット、
スタートボタンを押すだけの簡単操作。

*幅320mm×高さ403mm×奥行413mm



NEW 多項目自動血球分析装置 XSシリーズ

XS-800i

マニュアル吸引(オープン)対応タイプ

マニュアル吸引に対応、
微量検体が多いご施設に最適。

*幅320mm×高さ503mm×奥行413mm

●パソコンソフト、資料は下記にご請求ください。

製造販売元

シスメックス株式会社



ISO 9001, ISO 13485
ISO 14971, ISO 15001
ISO 13485

ISO 9001, ISO 13485
ISO 14971, ISO 15001
ISO 13485

本社 神戸市中央区臨海通1丁目5番1号 〒851-0073 TEL (078) 265-0500(代) URL: <http://www.sysmex.co.jp>

営業推進本部 神戸 078) 992-6124

支店 仙台 022) 722-1718 北関東 0480) 606-3888 東京 03) 3814-6046 名古屋 052) 775-8181 大阪 06) 6337-8300 広島 082) 248-9070 福岡 092) 411-4214

営業所 札幌 011) 281-6118 盛岡 019) 654-3331 長野 0263) 31-8180 新潟 025) 243-6268 千葉 043) 257-2701 横浜 045) 473-3896 静岡 054) 237-4815

金沢 076) 221-0083 京都 075) 861-3196 神戸 078) 251-5331 高松 087) 823-5851 岡山 086) 224-2026 鹿児島 099) 267-1344

ソリューションセンター・テクニカルセンター・中央研究所・研究開発センター/神戸 工場/岡谷川

臨床検査を通じて

人の健康について真剣に考え行動します



第 K830027 011 号



検体検査

(財)医療関連サービスマーク振興会誌)

滋賀本社ラボは、CAP(米国臨床病理医協会)
ISO9001/2000認証施設です。

MEDICAL INFORMATION CENTER



株式会社 メディック

<http://www.medic-grp.co.jp>

滋賀本社
 北滋営業所
 京都営業所
 津ラボ
 上野ラボ
 大阪ラボ
 北大阪営業所
 兵庫ラボ
 奈良ラボ
 京南営業所

滋賀県野洲市富波乙592
 滋賀県彦根市後三条町327-1
 京都府京都市北区西賀茂榎ノ木町34
 三重県津市藤方浜替525-1
 三重県伊賀市大谷946-5
 大阪府東大阪市鷹殿町20-14
 大阪府豊中市上野坂1-1-3
 兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和1040-1
 奈良県天理市蔵之庄町486
 京都府京田辺市草内禅定寺43

☎ 077-588-3456
 ☎ 0749-26-1255
 ☎ 075-495-0400
 ☎ 059-224-5455
 ☎ 0595-23-9436
 ☎ 0729-87-5550
 ☎ 06-6850-2442
 ☎ 078-975-8090
 ☎ 0743-65-3141
 ☎ 0774-64-0851

全自動尿分析装置

US-3100Rの開発コンセプトは、高性能のままの小型化でした。

栄研化学の尿自動分析装置USシリーズは、1992年のUS-2100の誕生以来、測光部にカラーCCDセンサを採用し、その精度と解析能力を進化させてきました。そして、USシリーズ最新機種として「高性能のまま小型化する」をコンセプトに、このUS-3100Rを開発しました。

US-3100R

FULLY AUTOMATED URINE ANALYZER



①コンパクトな全自動尿分析装置

スペースの少ない検査室でも設置できるサイズにこだわりました。(当社従来装置容積比-43%)

②高速処理

ノズルタイプで1時間あたり250検体の高速処理を実現しました。

③同時に2種類の試験紙をランダムアクセス測定

外来、入院や健診、ドックなどの検体を分けずに測定することができます。

④豊富な試験紙から選択可能

「クロペーパーαIII」栄研」の豊富なバリエーションの中から選択できます。

⑤日本語表示による対話方式

ファンクションキーの画面操作は、誰にでも簡単に操作できます。

⑥フレキシブルな拡張性

分離型ユニットなので搬送システムへの構築が可能。また、ホストコンピュータへのネットワーク化やチケットプリンタ、汎用プリンタに同時出力できます。

⑦出力値による精度管理

コントロール測定は出力値(数値)で表示されるため、より詳細な精度管理ができます。

⑧ディリーチェック機能搭載

各センサおよび光学状態などを自動的にチェックすることで、トラブルの事前回避・防止が可能です。

■カラーCCDセンサによる5つのメリット

①ヘモグロビンと赤血球を鑑別します。

②異常発色を検出します。

③試験紙のパッド位置を自動検知、エリア指定も可能です。

④検体ごとに自動光量補正します。

⑤試験紙のパッド枚数を確認します。

●札幌 011-281-5401 ●仙台 022-712-2882 ●東京第一 03-3913-6497 ●東京第二 03-3913-6568 ●東京第三 045-664-4891
 ●名古屋 052-951-3022 ●京都 075-212-7277 ●大阪 06-6264-5312 ●広島 082-247-4506 ●福岡 087-637-7787
 ●福岡 092-751-2227

※この資料の発行は、本装置に添付の「取扱説明書」を必ずご参照下さい。
 ※なお、改良のため仕様・外観に多少の変更は予告なしに実施することがございますので、予めご了承下さい。

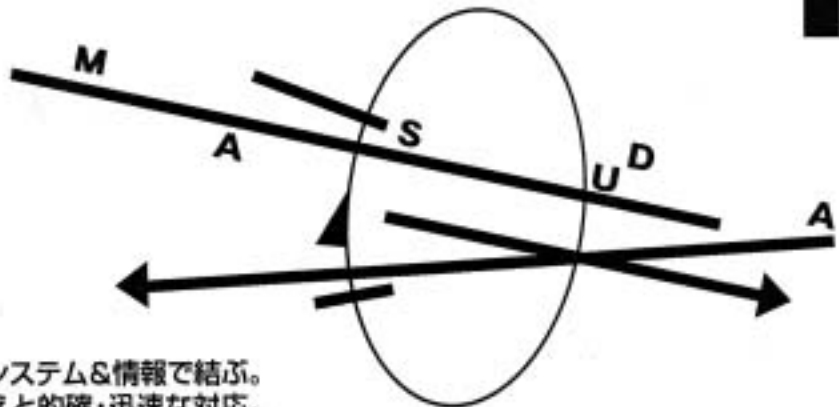
テクニカルサービス: 0120-005-699

●販売元  **栄研化学株式会社**
 〒113-8406 東京都文京区本郷1丁目33番9号
<http://www.eiken.co.jp>

●製造元  **寺崎電気産業株式会社**
 〒545-0021 大阪市阿倍野区南町7丁目2番10号

お届けしたいのは 最適の最新です。

現場を見つめ、最適の商品を。
未来を見つめ、最新の商品を。
医療機器から関連情報サービスまで、
お届けするのがMASUDAの仕事です。



- 医療現場とメーカーを医療システム&情報で結ぶ。
- 信頼の基本は、豊富な品揃えと的確・迅速な対応。
- 最先端の分析機器・理化学機器で研究現場をバックアップ。

医療機器・理化学機器の総合商社

株式会社 増田医科器械

本社 ● 〒612-8443 京都市伏見区竹田薬屋町50番地 Tel(075)623-7111 Fax(075)623-7131
滋賀支店 ● 〒520-2362 滋賀県野洲市市三宅454番地1 Tel(077)587-6441 Fax(077)587-6481

HITACHI

日立ハイテク



日立自動分析装置

LABOSPECT series 新登場!!

検査の質の向上に貢献し、検査室の未来をリード

LABOSPECTシリーズは、メカトロニクス、エレクトロニクス、分析技術の進化により、超高速ピペティングテクノロジーやサンプルプローブ詰まり検知機能などの新技術を搭載し、ハードウェアの信頼性向上を図りました。さらに、臨床検査業務の効率化と信頼性の向上に貢献するために、IT技術を駆使し、分析条件設定・精度管理・保守管理（メンテナンス・予防保全）に至る一連の臨床検査業務のトータルサポートも新たに展開いたします。



分析性能、技術、信頼のブランド。コンパクトでフレンドリーな

LABOSPECT 003

分析性能最大220テスト/10分処理能力、同時最大42項目分析、ワンクリックで10DataStepの導入、完全リモート操作などの分析業務の統合が可能

日立ハイテク株式会社 日立ハイテク株式会社
〒100-8555 東京都千代田区千代田1-1-1
〒100-8555 東京都千代田区千代田1-1-1



スピード、技術、信頼のブランド。高速でパワフルな

LABOSPECT 008

超高速最大200テスト/10分処理能力、同時最大42項目分析、ワンクリックで10DataStepの導入、完全リモート操作などの分析業務の統合が可能

日立ハイテク株式会社 日立ハイテク株式会社
〒100-8555 東京都千代田区千代田1-1-1
〒100-8555 東京都千代田区千代田1-1-1

医療を導くから、その先の未来を導く。ナビゲーター

Life Science NAVIGATOR

MEDICALNAVI

<http://www.hitachi-hitec.com/science/>

株式会社日立ハイテクノロジーズ 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン (03) 3504-7211

北海道(札幌) (011) 707-3353 東北(仙台) (022) 264-3211 中部(名古屋) (052) 219-1744 関西(大阪) (06) 4807-2571

西国(高松) (087) 825-9977 中国(広島) (082) 221-4514 九州(福岡) (092) 721-3500



編集雑感

朝夕の風に秋の気配が感じられます。
今年の梅雨は各地に大きな被害の爪跡を残しました。今更ながら、
自然の力に驚かされます。

さて、10月21・22日には福井県担当の第46回近畿医学検査学会が
開催されます。また、県技師会におきましても各分野研修会が多数
開催予定されています。業務等、お忙しいことと思いますが自己
の知識取得、技術のスキルアップを目指し会員一人ひとりが向上心
を持って取り組んで行きましょう。！

藤田 記

会誌・会報恵送御礼

奈良県 愛知県 大阪府 京都府 茨城県
栃木県 島根県 長崎県 神奈川県 福島県
東京都 三重県 群馬県 青森県
滋賀県理学療法士会 滋賀県放射線技師会

第222号滋臨衛技だより

2006年 9月1日

発行所 滋賀県臨床衛生検査技師会

編集者 藤田 忠夫

桐畑 邦広

印刷所 合同印刷株式会社